SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：九州BMサービス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・自社の経営方針及び経営スローガンをオフィス内に掲示し、社内で常に意識を醸成するとともに外部に向けて発信している。 ・社内イントラやグループウェアでは経営方針、経営スローガン、企業理念、企業ビジョン及び事業計画等を公表しており、全社員一丸となって経営目標に挑戦する文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・「コンプライアンス管理規程」及び「リスク管理規程」等を策定し、九州産業交通ホールディング内に設置されているリスクコンプライアンス委員会と自社の担当窓口である管理グループによるコンプライアンス強化に取り組んでいる。 ・安全・保安の確保には様々な法令の遵守が必要であるため、教育プログラム等にて啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結し、不正競争防止に取り組んでいる。 ・社員のソーシャルメディア利用について、「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を策定し、事業運営上の秘密等を漏洩しないよう管理している。 ・適正な競争を確保するために2社以上からの相見積もりを徹底している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・SDGｓの取り組みはホールディングス経営企画グループが主管部門であり自社の管理部と連携を図り、事業活動が社会や環境に及ぼす影響を把握している。 ・事業運営の管理として、ホールディングスの各部署と自社の管理グループとで常時連携している。 ・ホールディングスにグループ会社全体をモニタリングする「監査室」が設置されており、グループ全社の法令遵守や内部統制について監査を推進している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ロゴや社名の商標権を取得している。取引先と「秘密保持に関する誓約書」を締結し、知的財産の保護に取り組んでいる。 ・知的財産の保護については、ホールディングス総務・法務グループ主催による、コンプライアンスWEB研修「知的財産権・表示規則等」を全従業員が受講している。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「特定個人情報取扱規程」及び「個人情報管理規程」などを策定し、個人情報の適切な取り扱いを遵守している。 ・ホールディングスのIT推進グループによる情報セキュリティ研修を定期的に受講し知見を深めている。 ・各種申請書等の保管やデータ管理を徹底し、定期的な自主点検を行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・グループホームページに「お客様ご意見箱」を設置し、お客様のご要望・ご意見を常時受け付け、取り入れるよう取り組んでいる。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・継続的なサプライヤーや事業パートナーとは契約を締結して倫理的な行動をもって互いに事業に資することを共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・グループ会社全体で事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し、熊本県等の自治体や警察消防、医療機関等と連携して災害や事故等に備えている。 ・上記計画等に基づき、適宜訓練を行うとともに毎年見直しを実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「ハラスメント防止に関する規程」を策定し、また研修会を実施する等、各種ハラスメントの防止に取り組んでいる。 ・各種ハラスメントの相談窓口を設置している。 ・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生等、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「就業規則」及び「安全衛生管理規程」を策定し、労働災害の防止及び安全衛生の確保について定めている。 ・「心の健康づくり活動方針」及び「ストレスチェック制度実施基準」を策定し、全社員の心身の健康管理を推進している。 ・自社の衛生推進者において安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・毎日「５Ｓ活動」を実施し、労働衛生を推進している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に沿って、雇用形態の異なる従業員の待遇について、公正に対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ホールディングス内に「ワークライフバランス支援センター」を設置し、グループ従業員の働き方改革を推進している。 ・「ノー残業デー」の設定、残業管理啓発など、残業時間の管理を徹底し、長時間労働防止に取り組んでいる。 ・「育児・介護休業規程」や「再就労支援制度規則」等を策定し、ワークライフバランスを推進している。 ・時差出勤制度を設定し、働き方改革を推進している。 ・「子育て支援優良企業」認定を受けている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「資格取得推進制度」の策定及び「通信教育」推進活動を行い、資格取得費用の支給や資格手当等、各種資格の取得を奨励している。 ・人事グループ主催によるキャリアや等級にあわせた集合型研修を実施しており、社員は必要に応じてセミナーや講演会等に参加している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎年の「生活習慣病予防検診」の全従業員受診、インフルエンザ予防接種の経費補助などを行っている。 ・ホールディングス人事グループ発信によるメンタルヘルスニュースを毎月受信し心の健康啓発を行っている。 ・就業中の全面禁煙化を推進している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・「子育て支援優良企業」認定を受けており、退職者の「再就労支援制度」を設定し、人材活躍環境を整備している。 ・他法人を退職した高齢者の採用や、退職後の再雇用制度を設定し、高齢者の活躍を推進している。 以上により、業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別等の違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・オフィス内のどこでもＷＥＢ会議等を接続できる環境を整備し、各種ITツールを整備している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・契約（書面・電子）管理においてＲＰＡを導入しており、ＤＸ化の推進に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・設備管理、清掃、警備の業務において熊本桜町ビルを利用の来館者様に対して「安心・安全・快適」な施設空間を24時間、365日提供を行っている。また、熊本市中心街地や阿蘇の清掃活動などを行ったことによりブライト企業に認定されている。 認定期間：2022年10月11日～2025年10月10日			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：九州BMサービス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・専門業者へ委託し一般ごみと産廃ごみに分別し、適切にごみ処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月電力や各種エネルギーの使用量の実績を集約し、自社でエネルギー使用量および排出量を算出し削減に取組んでいる。 ・2022年度原油換算エネルギー使用量→5,469kl ※施設全体の電気、都市ガス ・施設全体に対して、不要な照明の消灯、空調温度の設定変更、熱源設備の効率化等、節電の啓発を行い、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。							7.3						13			
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・毎月電力や各種燃料の使用量の実績を集約し、自社で温室効果ガス排出量の算出を行い削減に取組んでいる。 ・CO2量合計→6,335 ※施設全体 ・施設の管理を担う熊本桜町ビルではカーボンニュートラル施設を目指し、省エネ機器や高効率機器の導入を実施し、施設全体に対しては、不要な照明の消灯、空調温度の設定変更、熱源設備の効率化等、節電の啓発を行い、エネルギー使用量の削減に取り組んでいる。 ・クールビズ（５月～10月）を推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・地下水利用（揚水、還元）に伴い、定期的に場内井戸および他の環境への影響を把握するため場外井戸計3箇所（ホテル、銀行、オフィスビル）のモニタリングを行い、水資源の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・中古ファイルはできるだけリユースしている。 ・ICTツールを導入し、業務や会議のペーパーレス化に取り組んでいる。 ・従業員がマイボトルやマイバッグを使用している。 ・中古封筒の再利用にてごみの削減を推進している。 ・社内でのゴミの分別化徹底により、資源の効率活用を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・地下水利用に伴い、定期的に井戸のモニタリングを行い、水資源の保全に取り組んでいる。 ・地下水財団等の地下水涵養事業を実施している公益法人等に採取量に応じた寄付金を拠出し、協働の取組に参画している。 ・月次で水道使用量の確認を行い、使用量の削減に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・製品カタログやホームページを活用し、グリーン購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・施設の管理を担う熊本桜町ビルに植栽や緑地帯を設け、それらの保全管理を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・施設の管理を担う熊本桜町ビルにおいてエネルギーマネジメントを行い、ターボ冷凍機、空冷チラー等の熱源機器のCOPを上昇させることで、エネルギーロスを防いでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	施設の日常管理を担うサクラマチ熊本駐車場に電気自動車充電スタンドを設置し、地域における環境に配慮した交通手段の普及に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・施設の管理を担う熊本桜町ビルはカーボンニュートラル施設を目指し、省エネ機器や高効率機器の導入を既に行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　　事業者名：九州BMサービス株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ビルメンテナンス事業については各種法令順守を以って安全体制常時チャック体制を構築している。 ・各事業所・施設の安全や保安の確保のための各種規程を策定し、着実な安全・保安業務を実施するとともに、警備会社や警察・消防等と連携し訓練を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設の管理を担う熊本桜町ビルの館内案内にはピクトグラムや看板を多数使用し、誰もが分かりやすい表示に努めている。 ・施設の管理を担う熊本桜町ビル・桜町バスターミナル内並びにトイレ等、ユニバーサルデザインを取り入れている									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・施設の管理を担う熊本桜町ビルの仕上材として熊本県産材を使用するなど、県産材の有効活用に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・地域の利便性向上や活性化という社会課題に対し、施設の管理を担う熊本桜町ビル活用により地域貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県内の非営利慈善団体へ寄付を行っている。 ・ホールディングスが主催する熊本中心市街地、阿蘇地域及び各事業所周辺地域の清掃活動に参加している。 ・熊本県や周辺自治体と連携し、防災計画の検討から防災活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災、減災計画を策定し訓練を行っている。 ・上記計画の策定や各種訓練の想定には各事業所としての自然災害の記録も踏まえて活用している。 ・自衛消防隊を組成し、定期訓練を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・当施設として行政と大規模災害時における帰宅困難者等への支援に関する協定（一時滞在施設、備蓄物資の配備）および桜町、花畑地区のエリア防災計画に参画し、近隣施設等との地域防災活動に貢献している。 ・従業員に自衛消防業務講習や蘇生法等の講習を受講させ、防災の技能を持つ従業員を育成するとともに、社内への啓発に取り組んでいる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。（小川工業高校、八代工業高校など）				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・熊本県内の新卒採用及び、Uターン・Iターン含む中途採用を行っている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。